

## 令和4年度 学校評価 自己評価書(2学期)

## 1 学校経営の重点

- ① 確かな学力の定着に向けた授業改善, 主体的学習態度を育む指導
- ② 時や場所を考えて適切に判断し, 行動できる力を育む指導
- ③ 安全意識を高め感染症対策等心身の健康を育む指導及び部活動の活性化
- ④ 困難にも諦めずに取り組む心や自他を大切にすることを育む指導
- ⑤ 一人一人の進路目標達成に向けた指導
- ⑥ 教育の情報化の推進, 情報モラルの遵守指導
- ⑦ 信頼される教職員・学校を目指した取組, 業務・職場環境改善の推進
- ⑧ 地域を生かした教育, 鶴岡第二中学校(兄弟校盟約)との交流推進

2 課題と改善策 ※ 評価は職員による4段階評価の平均  
 ※ 比は1学期との比較(±0.2以下は→)

	評価項目	評価	比	状況及び改善の方向
重点 ①	1 「確かな学力」の定着に向けた授業改善, 主体的学習態度を育む指導に取り組んでいる。	3.3	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内容(教科書の進み具合)は計画通りである。定着の低い内容は, Web問題等も活用した指導にも取り組む。</li> <li>・ 全教科で指導の工夫に取り組み, 研究授業をとおして検証し, タブレット活用も行なう。</li> </ul>
重点 ②	1 時や場所を考えて適切に判断し, 行動できる力を育てている。 2 自己有用感を高めるために, 生徒の良さを認めたり相談にのったりしている。	3.2 3.4	→ →	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規律ある行動や人権尊重の言動は生徒の実態として満足できる状況ではないので, 生徒会活動とも関連付けて取り組んだ。</li> <li>・ 生徒会が関わる活動を増やしたことで生徒会役員等のリーダーの意識が高まってきた。各学年・学級の活動も充実させる。</li> </ul>
重点 ③	1 安全意識を高め感染症対策も含めて心身の健康を育む指導に取り組んでいる。	3.4	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍で校外ではマスクを外す指導や黙食中止の検討等を行なった。新しい生活様式の定着に向け全校体制で取り組む。</li> </ul>
重点 ④	1 自他を大切に, 困難にもあきらめない心の育成に取り組んでいる。	3.5	↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍で早めに立案をして, 工夫改善して行事(体験活動)を行なった。文化祭や校内持久走・駅伝等では, 協力場面を作りながら取り組めた。</li> </ul>
重点 ⑤	1 一人一人の進路目標に応じた指導に取り組んでいる。	3.3	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年生では三者面談を通じた進路の選択がなされた。面接指導も含め, 受検等進路選択へ自信をもたせる指導を計画的に行う。</li> </ul>
重点 ⑥	1 教育の情報化に取り組み, ICTを効果的, 効率的に活用している。	2.8	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1人1台タブレットを活用する機会が増えてきた。使用する中で, 課題等を解決していき, 効果的, 効率的な活用法を探っていく。</li> </ul>

重点 ⑦	1 教職員としての自覚と責務をもち、日々の教育活動に取り組んでいる。	3.7	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力向上に向けて、研究授業での協議や学力検査分析を活かした指導を充実させていく。</li> <li>・ 個々で勤務時間外勤務には差がみられる。退校時刻は概ね良好である。校務時間確保に教務係が工夫して取り組んだ。より効果的で効率的な改善を工夫していく。</li> </ul>
	2 教職員個々の業務改善の取組である、「1Try」を実践している。	3.0	→	
重点 ⑧	1 地域の特色や人材・施設を生かした教育活動を行っている。	2.6	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鶴岡第二中学校との交流は生徒会を中心にオンライン交流が2回実現できた。3学期も盟約後援会とも連携して計画的に取り組んでいく。</li> </ul>

### 3 3学期に向けての取組

- (1) 進級、進学に向けて、学習定着度調査等の分析を基に授業で定着を図る場を設定するなどして、必要な学力を身に付けさせたい。
- (2) いじめ問題等、生徒指導上の課題把握をアンケートや日常の観察、相談等から発見し、学年部全体など組織で対応し、その解決に取り組みたい。
- (3) 令和5年度の教育課程編成では、コロナ禍における対策とともに、自ら考え自ら学ぶ姿や互いを認め合う姿の育成を目指した計画作りを学校全体で行いたい。